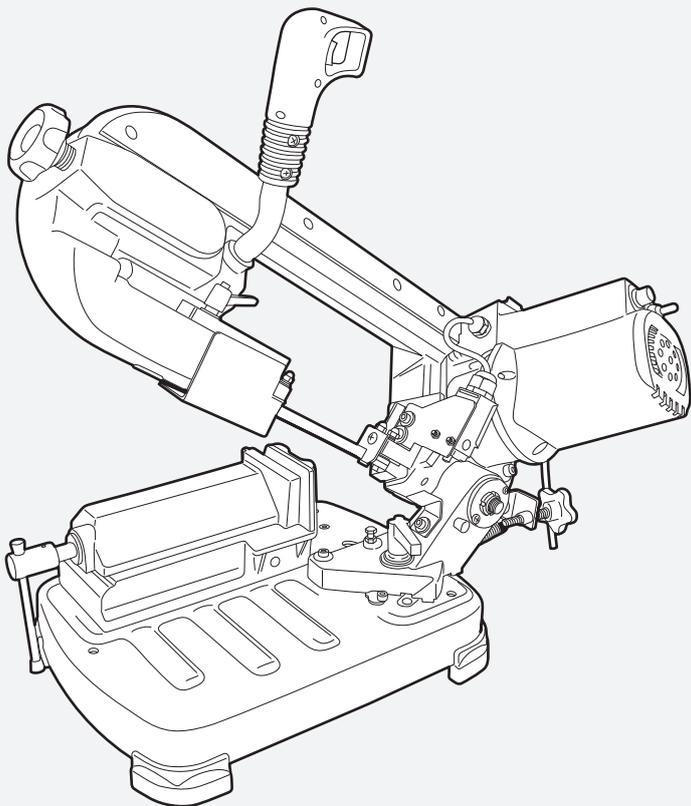


# 変速バンドソー

## RBS-125SCA



## 取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

### 目次

<b>お使いになる前に</b>	<b>1</b>
安全にお使いいただくために	
電動工具を安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
<b>本製品について</b>	<b>8</b>
用途	
各部の名称・セット内容	
仕様	
能力	
<b>使用前の準備</b>	<b>10</b>
調整・組み立てについて	
ブレードの調整	
<b>使い方</b>	<b>12</b>
使用について	
操作方法	
使用方法	
ブレードの取り付け・取り外し	
<b>お手入れ</b>	<b>20</b>
保守・点検	
故障かな?と思ったら	
<b>お買上げの後に</b>	<b>22</b>
別売品のご紹介	
保証書	

# お使いになる前に

## 安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に

区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 <b>警告</b>	人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容
 <b>注</b>	本製品や付属品の取扱い等に関する重要な注意事項

## 電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

### **警告**

#### 1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

#### 2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤等引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた場所や湿気の多い場所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)

#### 3. 作業者以外を近づけないでください。

- 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

#### 4. 作業に適した服装で作業してください。

- 作業をするときは保護めがねを着用してください。
- 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれるおそれのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)等防音保護具を着用してください。

## 5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れ等本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音等がないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

## 6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるけがの原因)

## 7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

## 8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

## 9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

## 10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱等)に接触させないでください。(感電の原因)

## 11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

# お使いになる前に(続き)

## 12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。(火災・故障の原因)

## 13. コードなどの取扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった場所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業員以外には本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

## 14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 15. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(けがの原因)

## 16. 作動している状態のまま放置しないでください。

## 17. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っかけたりした場合、事故・けがの原因となります。

## 18. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

## 19. やけどに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

## 20. 定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

## 21. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。

## 22. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

## 23. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やけがの原因となります。

**この取扱説明書は大切に保管してください。  
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。**

## 注意

### 1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上の物を使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み正しく使用してください。

### 2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

### 3. 騒音に注意してください。

- 法令及び各都道府県等の条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

### 4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(けがの原因)

### 5. こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買上げの販売店に修理をお申しつけください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

### 6. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

## 本製品を安全にお使いいただくために



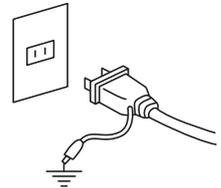
1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
2. 本製品は刃物を回転させる電動工具です。使用するときは細心の注意を払い、必ず取扱説明書を読み、使用方法を理解したうえで使用してください。取扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には使用させないでください。
3. 切断中に加工材を動かすとブレードが変形・破損し、故障・けがの原因となります。
4. 作業時、ブレードで電源コードを切断しないよう注意してください。
5. ブレードやパーツの取付けは必ず確実に行ってください。ブレードの取付け方向を間違えないよう注意してください。
6. 指定以外のブレードは使用しないでください。また取扱説明書に従い確実に取り付けられているか確認のうえ使用してください。
7. 保持・固定のできない径の細いものや安定しない形状のものの切断は危険ですのでしないでください。また加工物は必ずバイスでしっかりと固定してから使用してください。
8. 切断途中でブレードを回転させたままハンドルを上に戻さないでください。ブレードがホイールから外れたり、折れる原因になります。
9. 回転中にブレードテンション調整ノブは絶対に回さないでください。(けが・故障の原因)
10. 回転中・作業直後のブレードや切りくずは危険です。絶対にさわったり、顔を近づけたりしないでください。(けがの原因)
  - スイッチを切ったあとも、ブレードはある程度惰性で回転し続けます。ブレードが完全に停止するまで手を触れないでください。(けがの原因)
11. 作業直後、加工物・本体・ブレードは大変熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
12. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業に使用しないでください。特にモーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
13. 故障・異常時は直ちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。又は(株)高儀「お客さま相談窓口」に相談してください。

# お使いになる前に(続き)

## アース(接地)について

### ⚠ 警告

- 必ずアース(接地)を行ったうえで使用してください。故障や漏電のときの感電防止のために必要です。
- アース線をガス管に接続しないでください。(火災・爆発の原因)
- 電源は必ずアース端子のついている物を使用してください。アース端子のない場合や、アースの埋め込みなどは専門の電気工事店に相談してください。



### ⚠ 注意

#### 1. 必ず安定した場所で作業してください。

- 傾斜のない平坦な場所に据えつけて作業してください。不安定な場所で作業するとけが・事故の原因となります。

#### 2. 常温(0~40℃)で使用してください。

### ◇ 注

#### 1. モーターの回転中に本体通気口から火花が見えることがありますが、故障ではありません。

#### 2. 定期的に清掃してください。

- 電源プラグ・電源コードに切りくずなどが付着している場合にはよく取り除いてください。

# 本製品について

## 用途

◆鉄・ステンレス等の単管・鋼材や、塩ビ管、ライニング管等の切断に

## 各部の名称・セット内容

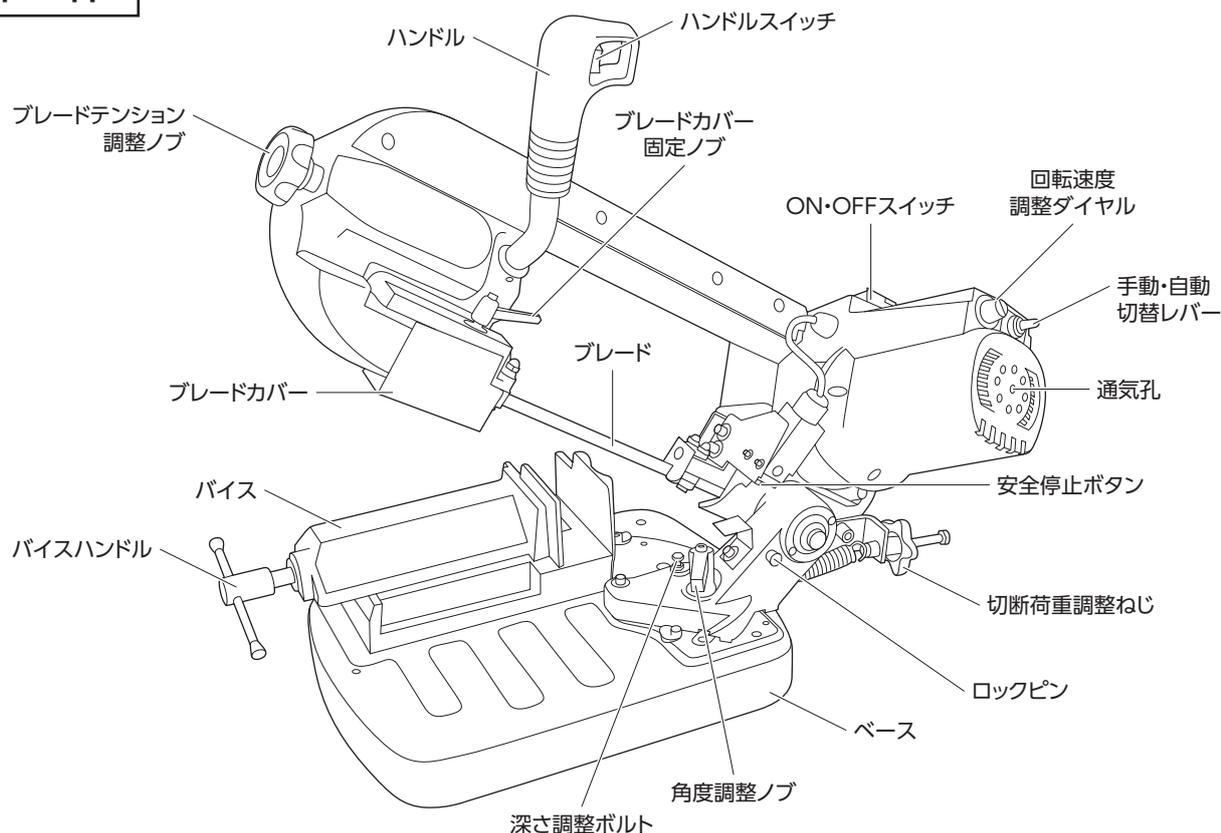
### 要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

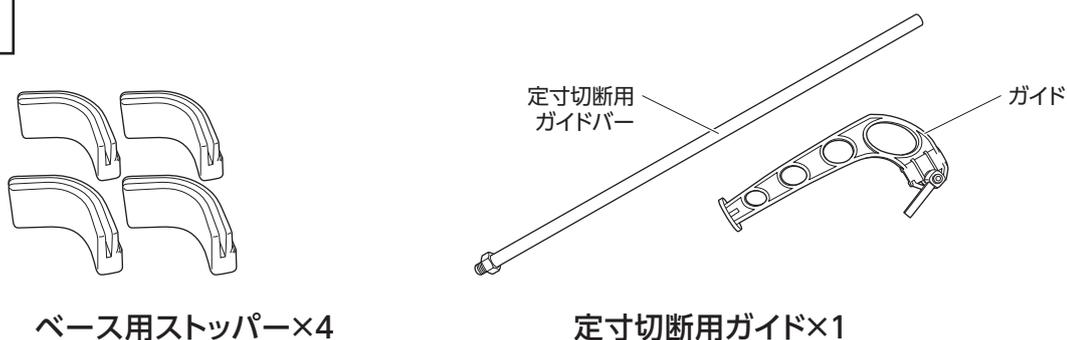
- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

万一、不具合な点がありましたら、お買上げの販売店又は(株)高儀までご連絡ください。

### 本体



### 付属品



# 本製品について(続き)

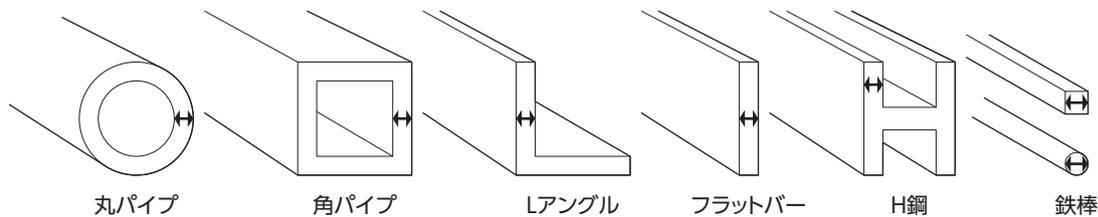
## 仕 様

### ●本体(RBS-125SCA)

電 圧	AC100V	ブレード寸法	(周長)1,440mm (刃幅)13mm (山数)8/12 山/インチ (刃厚)0.65mm
周 波 数	50/60Hz		
電 流	3.0A		
定格消費電力	250W	本体サイズ	約長さ725×幅340×高さ435mm
ブレード速度	約55~100m/min	コード長	約1.8m
傾斜角度	0(直角)~60°	質 量	約22.8kg
		定 格 時 間	30分

※商品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

## 能 力



### 切断可能サイズ

	0°サイズ(直角)	45°サイズ	60°サイズ
丸パイプ	φ125mm	φ80mm	φ50mm
角パイプ	125mm×130mm	80×80mm	50×50mm

### 切断可能厚さ

※8/12山の付属ブレード取付時

丸パイプ	1.5~10mm
角パイプ	1.5~10mm
Lアングル	1.5~10mm
フラットバー	1.5~10mm
H鋼	1.5~10mm
鉄棒	5~60mm

# 使用前の準備

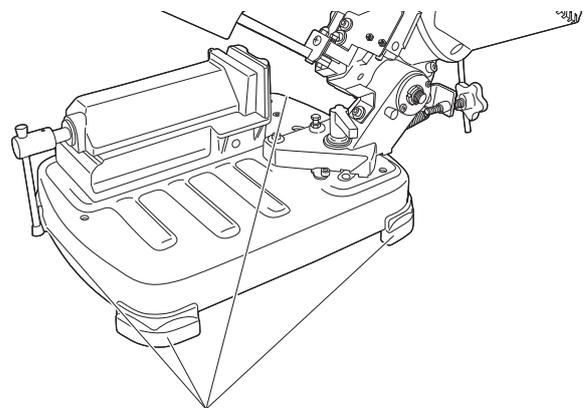
## 調整・組み立てについて

### 警告

- 梱包時ブレードはゆるめてあります。ブレードの調整をせずにスイッチを入れるとブレードが外れ大変危険です。使用後は電源プラグをコンセントから抜き、ブレードのテンションをゆるめてください。
- 必ずスイッチを「OFF」にして電源プラグを抜いてから行ってください。
- ブレードは刃物です。取扱いは手袋を着用して行ってください。

### ベース用ストッパーの取付け

ベース裏面の四隅にベース用ストッパーを差し込んで取り付けます。



ベース用ストッパー

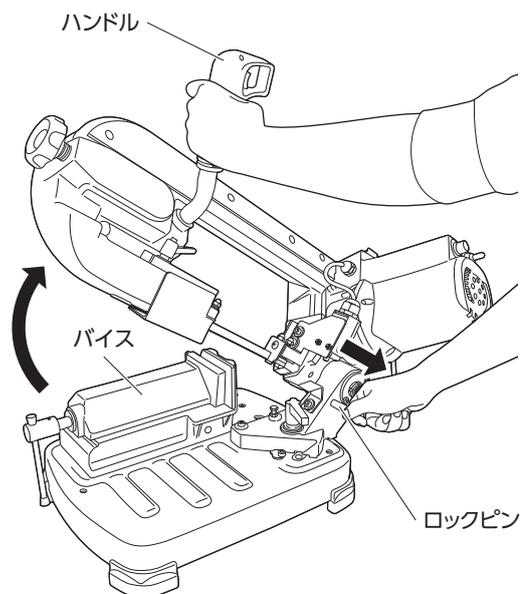
## ブレードの調整

### ブレードテンションの調整

1. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを握って上に持ち上げます。

### 警告

- ハンドルを握るときは絶対にハンドルスイッチに触れないでください。不意に始動するおそれがあり大変危険です。

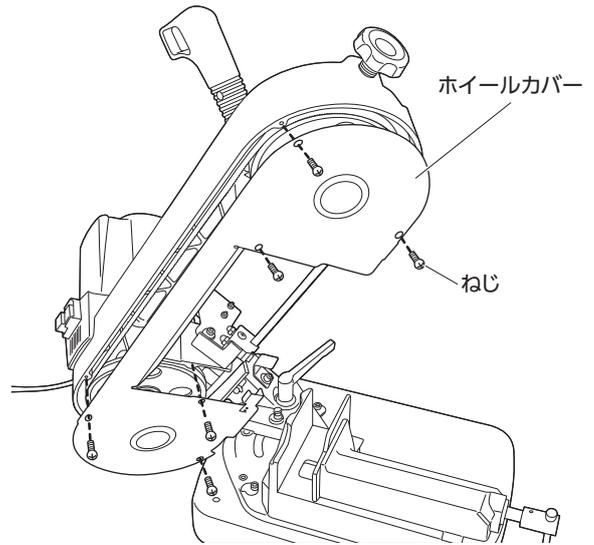


# 使用前の準備(続き)

2. ホイールカバーのねじをお手持ちの⊕ドライバーで回して外します。

注

- ホイールカバーをあける際、⊕ドライバーが必要です。  
セットには含まれておりませんのでお手持ちのものをご用意ください。
- 取り外したねじを失くさないよう注意してください。

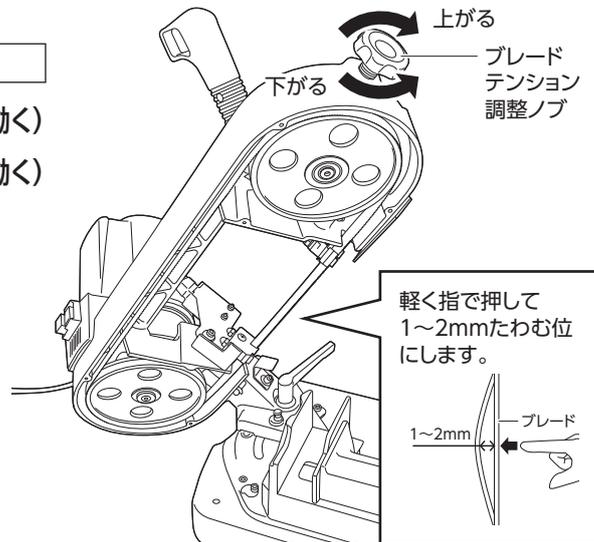


3. ブレードテンション調整ノブを回して調整します。

ブレードテンション調整ノブ

ブレードの張り

- 右回し(時計回し) ⇒ 強くなる(ホイールが外側に動く)
- 左回し(反時計回し) ⇒ 弱くなる(ホイールが内側に動く)



警告

- 張りの強さは軽く指で押して1~2mmたわむ位にしてください。
- 張りは強すぎると破損、弱すぎるとホイールから外れます。

作業終了後は…

ブレードの張りをゆるめておいてください。

張りが強いままだとブレードの寿命が短くなります

4.2で外したホイールカバーを取り付けてください。

# 使い方

## 使用について

### 警告

- ご使用前ごとに必ずブレードテンション調整を行い、無負荷で1分以上の試運転をして機械の破損・異常振動やブレードのぶれなどの異常がないことを確認してください。初めて使用の際、ブレードを交換した際は3分以上行ってください。
- 運転中にブレードテンション調整ノブは絶対に回さないでください。ブレードが外れたり、破損し大変危険です。各種調整も必ずスイッチを「OFF」にして、電源プラグを抜いてから行ってください。電源プラグをコンセントに差し込むときは、ホイールカバーを閉めた状態で本体を平らで安定するところに設置して行ってください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むとき、抜くときは、必ずスイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

### サーモスタット装置について

サーモスタット装置とは、温度が上昇したとき(モーター温度約90℃)に自動的に電源が切れ、モーターが止まる安全装置です。サーモスタット装置が作動したときは、必ずスイッチを「OFF」にして、電源プラグを抜いてください。温度が下がると通電するようになりますので、点検して異常が見あたらなければ、スイッチを「ON」にして、再使用してください。

※サーモスタット装置が作動したまま、スイッチを「OFF」にせず放置すると、自動復帰して電源が入り、モーターが作動して思わぬ事故につながるおそれがあります。サーモスタット装置が作動したときは、必ずスイッチを「OFF」にしてください。

## 操作方法

### スイッチの操作

本製品はマニュアルモードとオートモードを切り替えることができます。

オートモード……………自動でブレードを回転させ、ヘッドの自重で切断  
マニュアルモード…ハンドルスイッチを押しながらヘッドを下ろして切断

- ※手動・自動切替レバーの位置が中央になっているときは作動しません。
- ※自動停止ボタンが押されているときは作動しません。

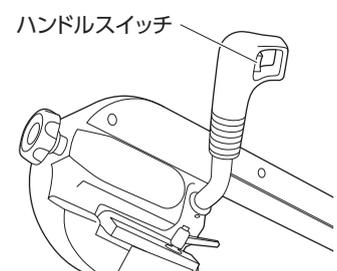
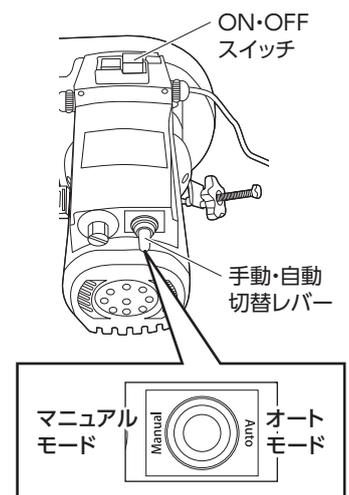
#### ■オートモード(スイッチを「ON」にすると自動でブレードが回転する)

- 1.手動・自動切替レバーをオートモードの方向に倒してください。
- 2.ON・OFFスイッチのON(I)を押すと作動し、OFF(O)を押すと止まります。

I…ON O…OFF

#### ■マニュアルモード(ハンドルスイッチを握っている間ブレードが回転する)

- 1.手動・自動切替レバーをマニュアルモードの方向に倒してください。
- 2.ON・OFFスイッチのON(I)を押してください。
- 3.ハンドルスイッチを握ると作動し、離すと止まります。
- 4.作業が終了したらON・OFFスイッチのOFF(O)を押してください。



# 使い方(続き)

## 切り込み深さの調整

切り込み深さを調整することにより、一回の切断ごとにブレードの回転を自動停止できます。

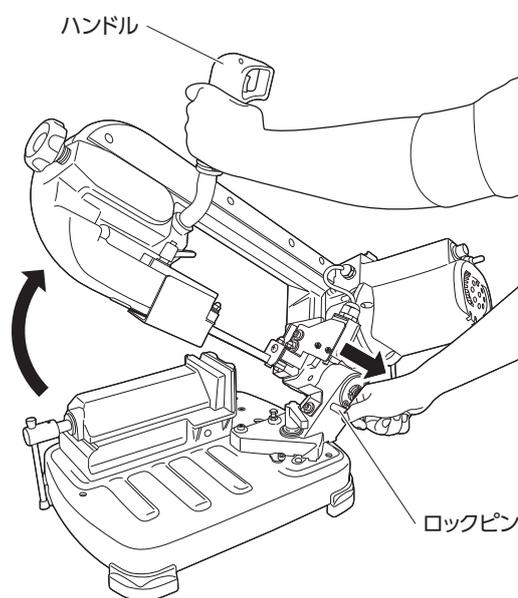
### ⚠ 警告

- オートモードで切断する場合は必ず一回の切断ごとに自動停止するように調整してください。加工材の切断後もブレードが回転したままだと故障やけがの原因となります。

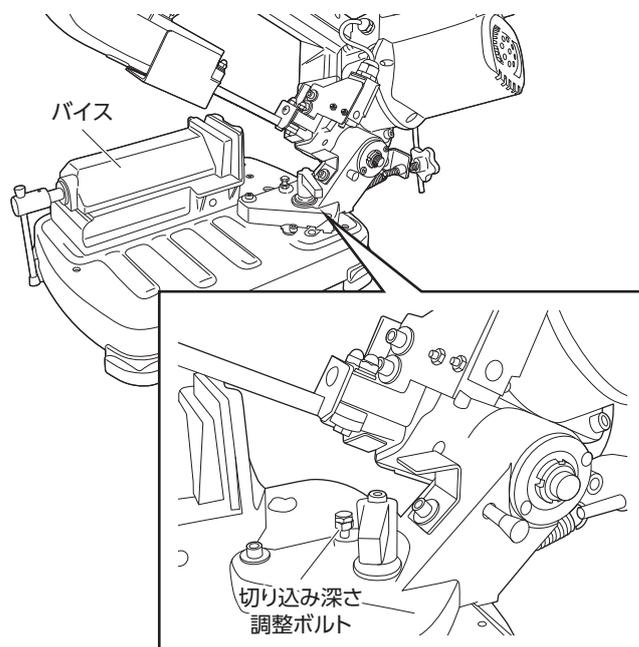
### ⚠ 注意

- 工場出荷時は一回の切断ごとに自動停止するよう調整されています。自動停止せずに作業をする場合は下記の手順に従って切り込み深さを調整してください。

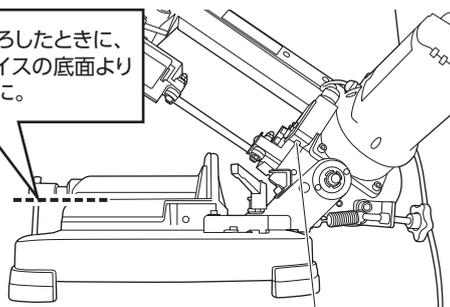
1. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを握って上に持ち上げ、再びロックピンを差し込んでハンドルが下りてこないようにします。



2. 切り込み深さ調整ボルトをお手持ちのスパナなどで回し、ハンドルを下ろしたときにブレードがバイスの底面よりも下にくるよう、ボルトの高さを調整してください。

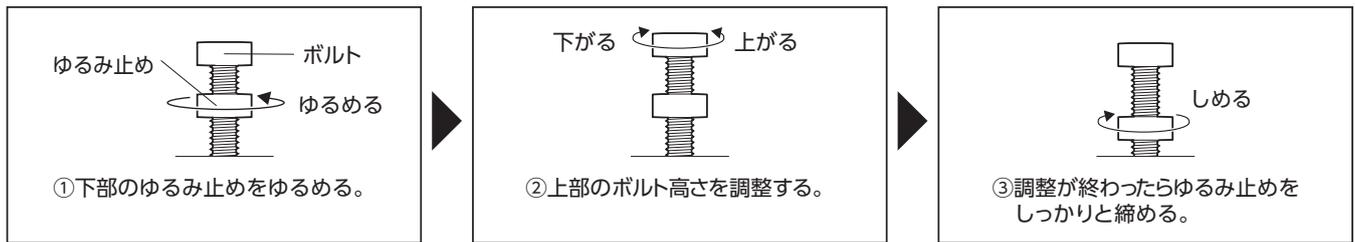


ハンドルを下ろしたときに、ブレードがバイスの底面より下になるように。

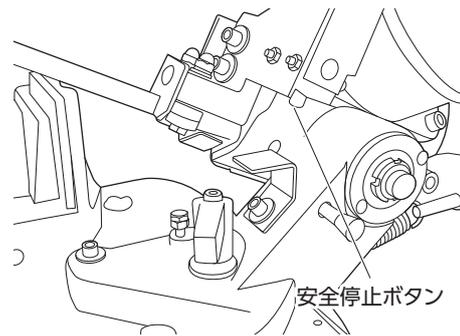


安全停止ボタン

## ボルト高さの調整方法



3. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを下ろします。ハンドルが下りきったときに安全停止ボタンがカチッと鳴るまで押されると、一回の切断ごとにブレードが自動停止します。安全停止ボタンが押されなければ自動停止はしません。



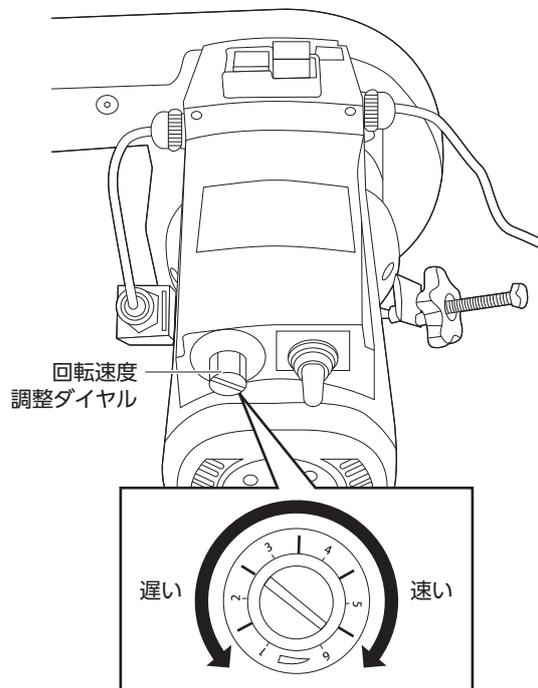
## 回転速度の調整

回転速度調整ダイヤルをまわすことにより回転速度の調整ができます。

回転速度調整ダイヤルを「速い」方向に回すと速度が速くなり、「遅い」方向に回すと速度が遅くなります。

加工材の種類に合わせて適切な速度に調整してください。

※ 硬い加工材やステンレス等を切断するときは回転速度を遅くしてください。



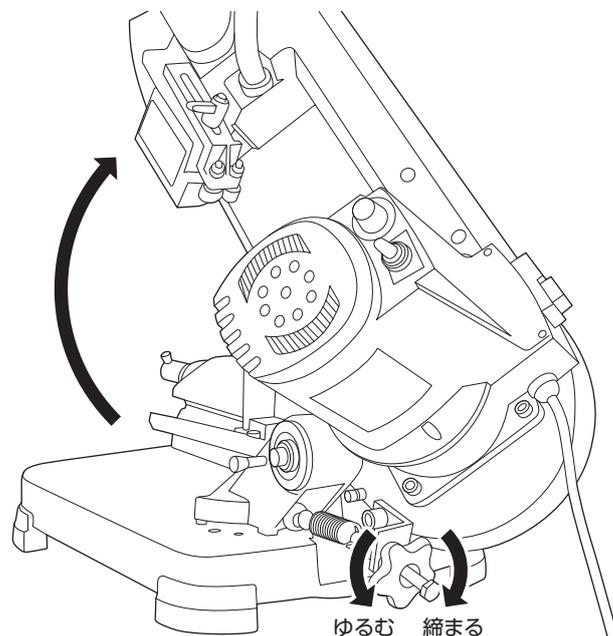
# 使い方(続き)

## 切断荷重の調整

加工材の種類に応じて切断荷重を調整することができます。

1. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを握って上に持ち上げます。
2. 切断荷重調整ねじを「締まる」方向に回すとヘッドを下ろす際に負荷がかかり、ヘッドの下降速度が遅くなります。「ゆるむ」方向に回すと負荷が減りヘッドの下降速度は速くなります。オート切断の場合は速め(「ゆるむ」方向へ調整)に、マニュアル切断の場合はおそめ(「締まる」方向へ調整)に調整してください。

※加工材によって適正な切断荷重は異なります。硬い加工材やステンレス等を切断するときは速め(「ゆるむ」方向の調整)にしてください。



## 試運転

### ⚠ 警告

- 使用前に必ず試運転・切断する加工材の端材などで試し切りを行ってください。

電源プラグをコンセントに差し込み、スイッチを入れてください。

スイッチを入れた直後は回転が安定せず本体やテーブル等が振動する場合があります。

※確認・点検をする場合はスイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

また、必ず切断する加工材の端材などで試し切りを行ってください。

# 使用方法

## 警告

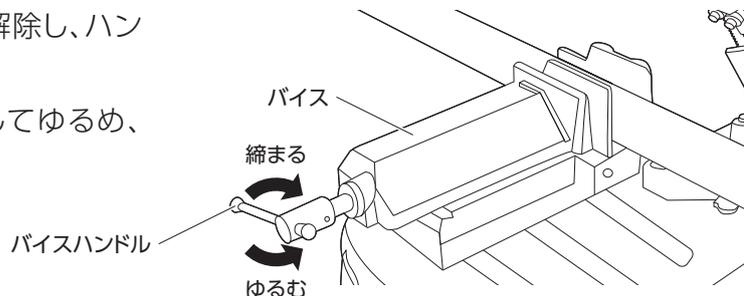
- 使用前に必ず試運転・切断する加工材の端材などで試し切りを行ってください。
- 加工材の切断後、切り落とし側の材料が倒れたり落ちたりして回転中のブレードに当たらないように注意してください。切断後に加工材の重みでバランスがくずれないように補助台を設けるなどして注意してください。
- 保持・固定のできない径の細いものや安定しない形状のものの切断は危険ですのでしないでください。また加工物は必ずバイスでしっかりと固定してから切断してください。
- 大変危険ですので、回転中、ブレードやその付近に手や顔等を近づけないでください。
- 切断中に加工材を動かすとブレードが変形・破損し、故障・けがの原因となります。
- 切断途中でブレードを回転させたままハンドルを上に戻さないでください。ブレードがホイールから外れたり、折れる原因になります。

## 注意

- 切断能力を超える作業はできません。
- 本製品は構造上、切り抜き(穴あき)切断はできません。

### 加工材の固定

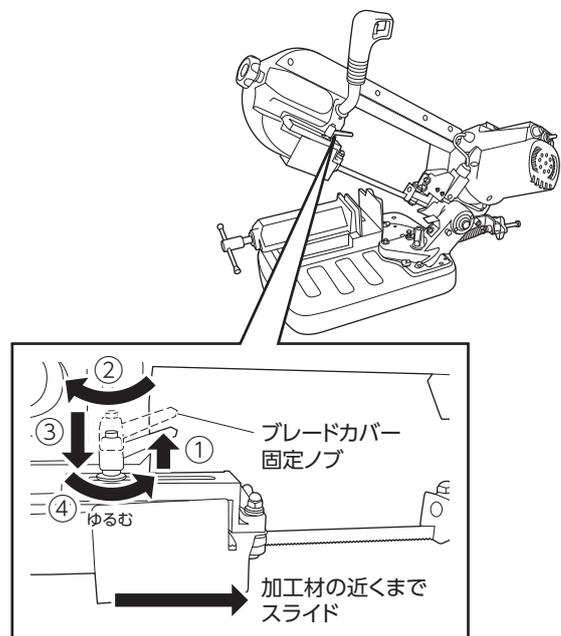
1. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを握って上に持ち上げます。
2. バイスハンドルを「ゆるむ」方向に回してゆるめ、加工材をバイスに挟みます。
3. バイスハンドルを「締まる」方向に回し、しっかりと加工材を固定します。



### ブレードカバーの調整

加工材の大きさに応じてブレードカバーの位置を調整することでブレードのたわみを防ぎ、より安全に正確な作業を行うことができます。作業時は加工材のなるべく近くまでブレードカバーをスライドしてください。

1. ブレードカバー固定ノブを一度上に持ち上げ(①)、そのまま左に回してから(②)下に戻し(③)、「ゆるむ」方向に回します(④)。
2. 1を何度か繰り返してブレードカバーがスライドするまでゆるめます。
3. 加工材のなるべく近くまでブレードカバーをスライドしたら、1の逆の手順でしっかりと固定されるまでブレードカバー固定ノブを締めます。



# 使い方(続き)

## 直線切断

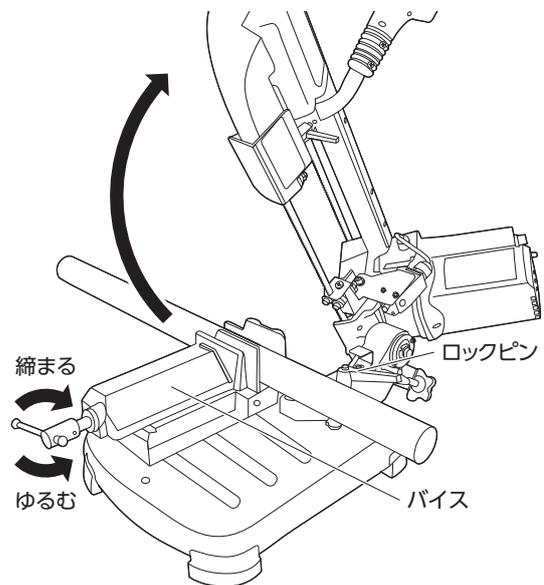
1. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを握って上に持ち上げます。
2. バイスで加工材をしっかりと固定します。
3. ハンドルを下して切断します。

### ■オート切断

スイッチをONにしてブレードの回転が安定したら、ハンドルをゆっくりと下ろしてブレードを加工材に軽く押しあてます。ハンドルを離すと自動的にブレードが加工材を切りすすめます。

### ■マニュアル切断

ハンドルスイッチを握り、ブレードの回転が安定したら、ハンドルをゆっくりと下ろしてブレードを加工材に押しあてて切断します。



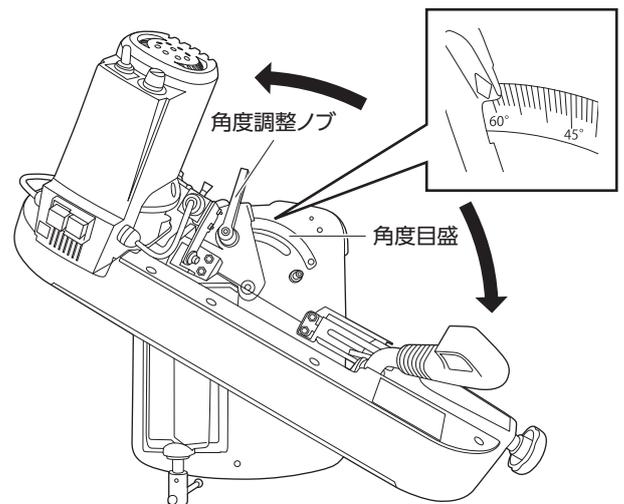
## 角度切断

本体角度を調整することで0~60°までの角度をつけて切断することができます。

1. 角度調整ノブを一度上に持ち上げ、そのまま左に回してから下に戻し、右に回してゆるめます。
2. 1を何度か繰り返して本体が左にスライドするまでゆるめます。角度目盛を参考に角度を決めてください。

※角度目盛はあくまで目安です。精度を上げたいときは実測で調整してください。

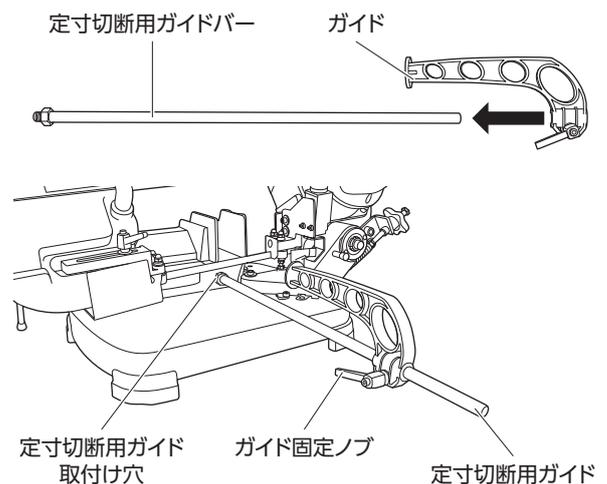
3. 角度を決めたら1の逆の手順で本体がしっかりと固定されるまで角度調整ノブを締めます。



## 定寸切断

定寸切断用ガイドを使うことで、複数の加工材を同じ長さで切断することができます。

1. ガイド固定ノブを回してゆるめ、右図のように定寸切断用ガイドバーにガイドを差し込みます。
2. 定寸切断用ガイドの先端のネジ部を定寸切断用ガイド取付け穴に回しながら差し込み、しっかりと固定します。
3. ガイド位置を調整します。
4. ガイド位置が決まったらガイド固定ノブを回してしっかりと固定します。



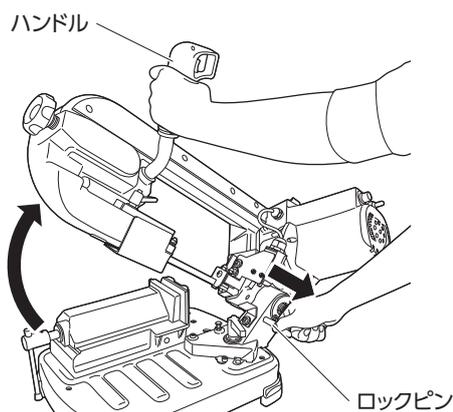
# ブレードの取付け・取り外し

## 警告

- 必ずスイッチを「OFF」にして電源プラグを抜いてから行ってください。
- ブレードは刃物です。取扱いは手袋を着用して行ってください。

## ブレードの取り外し

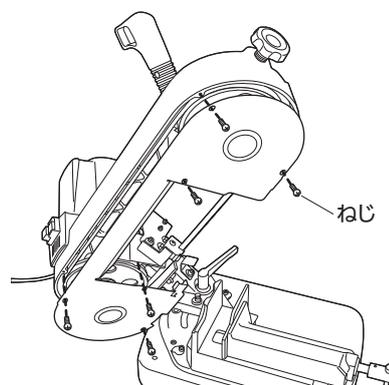
1. ロックピンを引いてハンドルロックを解除し、ハンドルを握って上に持ち上げ、再びロックピンを差し込んでハンドルが自動で下りてこないようにします。



2. ホイールカバーのねじをお手持ちの⊕ドライバーで回して外します。



- 取り外したねじを失くさないよう注意してください。

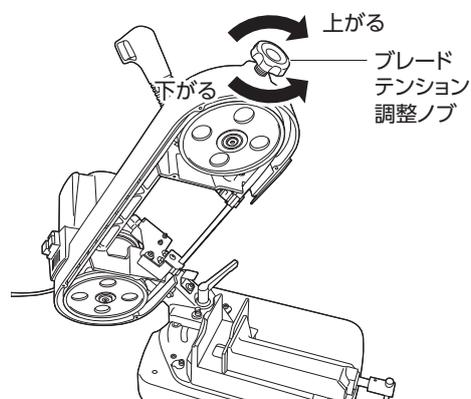


3. ブレードテンション調整ノブを回して調整します。(ホイールが内側へ動いてブレードがゆるみまます。)

### ブレードテンション調整ノブ

### ブレードの張り

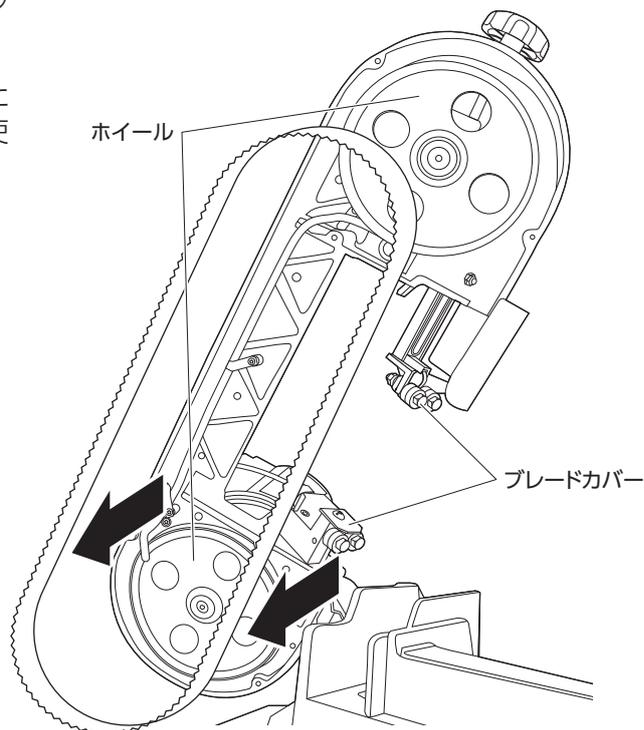
- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 右回し(時計回し)  | ⇒ 強くなる(ホイールが外側に動く) |
| 左回し(反時計回し) | ⇒ 弱くなる(ホイールが内側に動く) |



# 使い方(続き)

4. ブレードが十分にゆるんだら、両方のホイールからブレードを外し、続いてブレードカバーのスリットからゆっくり引き出して外します。

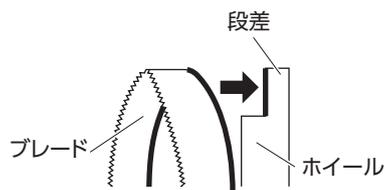
※ バランスよく引き出さないとブレードがねじれたり絡まったりします。お手持ちのペンチなどを使用し、注意して慎重に取り外してください。



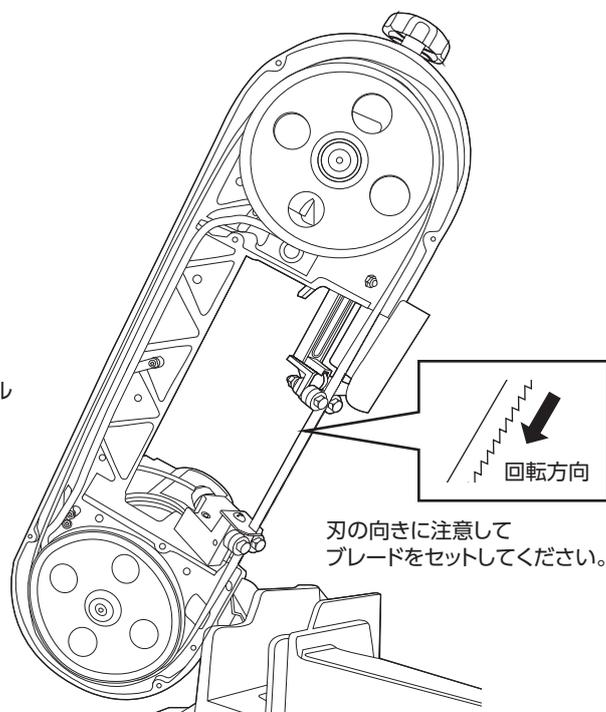
## ブレードの取付け

1. ホイール・ブレードにごみや油が付着した状態でセットすると、ブレードが外れる原因となり大変危険です。よく清掃してください。

2. **ブレードの取り外し**の逆の手順でブレードを取り付けます。ブレードの背がホイール奥側の段差にあたるように取り付けてください。ブレードが段差をこえないように注意してください。



3. ブレードの取り付け後、ブレードテンションを張り、ホイールを手で回してブレードが外れたりせず正常に回転するか確認してください。確認後は必ずブレードの調整を行ってください。P.10~11 **ブレードの調整**参照。



# お手入れ

## 保守・点検

- 機械は定期的に手入れをしてください。安全な作業ができるように常にきれいにし保守・点検を心がけてください。
- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ブレード(刃物)はお手入れをこまめにし、よく切れる状態に保ってください。
- ブレードが摩耗して切れなくなったり異常があるときは、新しい交換用ブレードと交換してください。
- 故障の際にはご自分で分解、改造せず必ず修理に出すようにしてください。
- 常に清潔に保管してください。定期的に点検・清掃することが安全、長寿命の基本です。
- 本体をごみ、ほこりの多い場所、高温や直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、風通しの悪い場所、お子様の手の届く所には保管しないでください。製品が汚れたときは柔らかい布で水拭きしてください。汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。(乾いた布で水分を残さないように拭き取ってください。)また、シンナー、ベンジン、アルコール類等の使用は、材質の劣化を招きますので、絶対に使用しないでください。
- 回転部には、切りくずやごみが詰まらないようにこまめに点検してください。動作不良や故障の原因になります。
- ブレードのテンション解除  
作業終了後はブレードのテンションをゆるめておいてください。  
テンションをかけたままですとブレードの寿命が短くなります。

### カーボンブラシについて

本製品にはカーボンブラシを使用しており、カーボンブラシは消耗品です。モーターの回転に違和感がありましたら交換の必要があります。交換の際は、お買上げの販売店に修理として依頼してください。

### 清 掃

- ブレード  
ブレードに汚れがありますとすぐにブレードが錆びてきます。  
汚れは乾いた布などでキレイに拭き取ってください。  
長期間使用しない場合は本体から取り外して厚めのビニール袋などに入れて湿気から守ってください。

# お手入れ(続き)

## 故障かな?と思ったら

### ⚠ 警告

- 故障・異常時は直ちに電源スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店にお申し付けください。又は(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故や、けがの原因となります。

状態	原因	対処法
モーターが作動しない。	①電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	②サーモスタット装置が働いている。	一度サーモスタット装置が作動するとしばらくモーターは動きません。サーモスタット装置が作動したらスイッチを切ってください。温度が下がると通電するようになりますので、点検して異常が見あたらなければスイッチを入れ再使用してください。P.12 <a href="#">サーモスタット装置について</a> を参照してください。
ブレードが外れる。	①ブレード・加工材にごみや油が付着している。	乾いた布などでキレイに拭き取ってください。
	②ブレードがうまく装着されていない。	P.18~19 <a href="#">ブレードの取り外し</a> <a href="#">ブレードの取付け</a> を参照し、正しく装着してください。
切断面が斜めになる。	①切断荷重の調整が適正でない。	P.15 <a href="#">切断荷重の調整</a> を参照し、加工材に対して適正な荷重に調整してください。
	②ブレードの急激な落下。	ブレードは必ずゆっくりと下ろし、ブレードを加工材に軽く押し当ててから手を離してください。
	③加工材がしっかりと固定されていない。	P.16 <a href="#">加工材の固定</a> を参照し、加工材が動かないようしっかりとバイスで固定してください。
切断時間が長い、又は切断中ブレードが止まる。	①切断荷重の調整が適正でない。	P.15 <a href="#">切断荷重の調整</a> を参照し、加工材に対して適正な荷重に調整してください。
	②ブレードが摩耗している。	P.18~19 <a href="#">ブレードの取り外し</a> <a href="#">ブレードの取付け</a> を参照し、新しい交換用ブレードと交換してください。
ブレードが欠ける。	①加工材がしっかりと固定されていない。	P.16 <a href="#">加工材の固定</a> を参照し、加工材が動かないようしっかりとバイスで固定してください。
	②ブレードの急激な落下。	ブレードは必ずゆっくりと下ろし、ブレードを加工材に軽く押し当ててから手を離してください。
	③切断荷重の調整が適正でない。	P.15 <a href="#">切断荷重の調整</a> を参照し、加工材に対して適正な荷重に調整してください。

# お買上げの後に

## 別売品のご紹介

- 本製品をお買上げの販売店又は、(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「お問合せ」よりお買い求めください。ご注文のときは、下記の品名・型式・JANをお伝えください。

品名	変速バンドソー専用 替ブレード 1440mm	
型式	RBSP-1	
JANコード	4907052 377431	

# お買上げの後に(続き)

## 保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシート等)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 変速バンドソー			お買上げ日	年 月 日
型式	RBS-125SCA	JAN コード	4907052 377417	保証期間	お買上げ日より6か月
販売店	販売証明書や レシート等を 添付してください。				

### 保証規定

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。  
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
  - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
  - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
  - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
  - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。\*  
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。  
\*製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

\*修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00~PM5:00(土日祝日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



#### ■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。